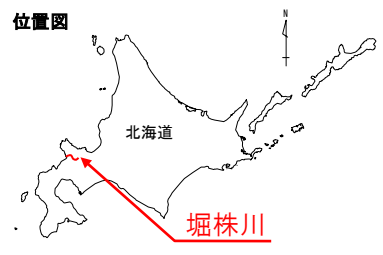


○昭和36年、37年と2年連続の洪水で甚大な被害が発生した堀株川水系では、農地部の流域治水プロジェクトとして以下の取り組みを一層推進していくことで、昭和37年8月洪水と同規模の洪水に対応した治水対策を行い、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 凡例
- 堤防整備
 - 樹木伐開・河道掘削
 - 想定氾濫区域
 - 市街地(DID地区)
 - 北海道知事管理区間
 - 流域界
 - 市町村界

高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表

河道掘削整備状況



0 2.5 5 10km



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道掘削、堤防整備等
 - 流出抑制対策の促進、農業排水路の保全
 - 治山対策、森林整備

- 被害範囲を減少させるための対策
- 河川掘削土を活用した低地等の嵩上げ検討
 - 宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 水位計や簡易型監視カメラ等による河川情報の提供
 - 洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知等
 - 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進
 - 防災教育・講習会の実施
 - 高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表
 - タイムラインの運用に係る改定



二級水系
流域治水プロジェクト

堀株川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

【案】

～肥沃な土地に恵まれた米どころと暮らしを守る流域治水対策～

堀株川水系では、流域全体を俯瞰し、国・北海道・町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】河川の上下流バランスを考慮し、浸水被害を軽減するために河道掘削、堤防整備等の対策を実施する。

【中期】引き続き、浸水被害を防止・軽減するために河道掘削、堤防整備等の対策を実施する。

【中長期】流域全体における河道状況の把握に努め、河川整備計画に基づく河道掘削、堤防整備等を実施し、治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備等	小樽建設管理部	河道掘削等、堤防整備等		
	河川への急激な雨水流出を抑制する流出抑制対策の促進	後志総合振興局	流出抑制対策の促進・農業排水路の保全		
	山地災害から流域を守る治山対策	後志森林管理署 後志総合振興局	治山対策		
	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	後志森林管理署 後志総合振興局 森林整備センター	森林整備		
被害対象を減少させるための対策	河川掘削土を活用した低地等の嵩上げ検討	小樽建設管理部	低地等の嵩上げ検討		
	宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進	小樽建設管理部	災害リスク情報の提供促進		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計や簡易型河川監視カメラ等による河川情報の提供	小樽建設管理部	水位計等による河川情報の提供		
	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知	共和町	ハザードマップの作成・周知		
	防災教育・講習会等への支援・参加	共和町	防災教育・講習会等への支援・参加（減災対策協議会の取組を反映）		
	要配慮者利用施設における避難確保計画作成促進	共和町	要配慮者利用施設における避難確保計画作成促進（減災対策協議会の取組を反映）		
	高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表	小樽建設管理部	高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表		
	タイムラインの運用に係る改定	小樽建設管理部	タイムラインの運用に係る改定		

■ 河川対策（後志総合振興局）

・事業費 約23億円

・対策内容 河道掘削等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進